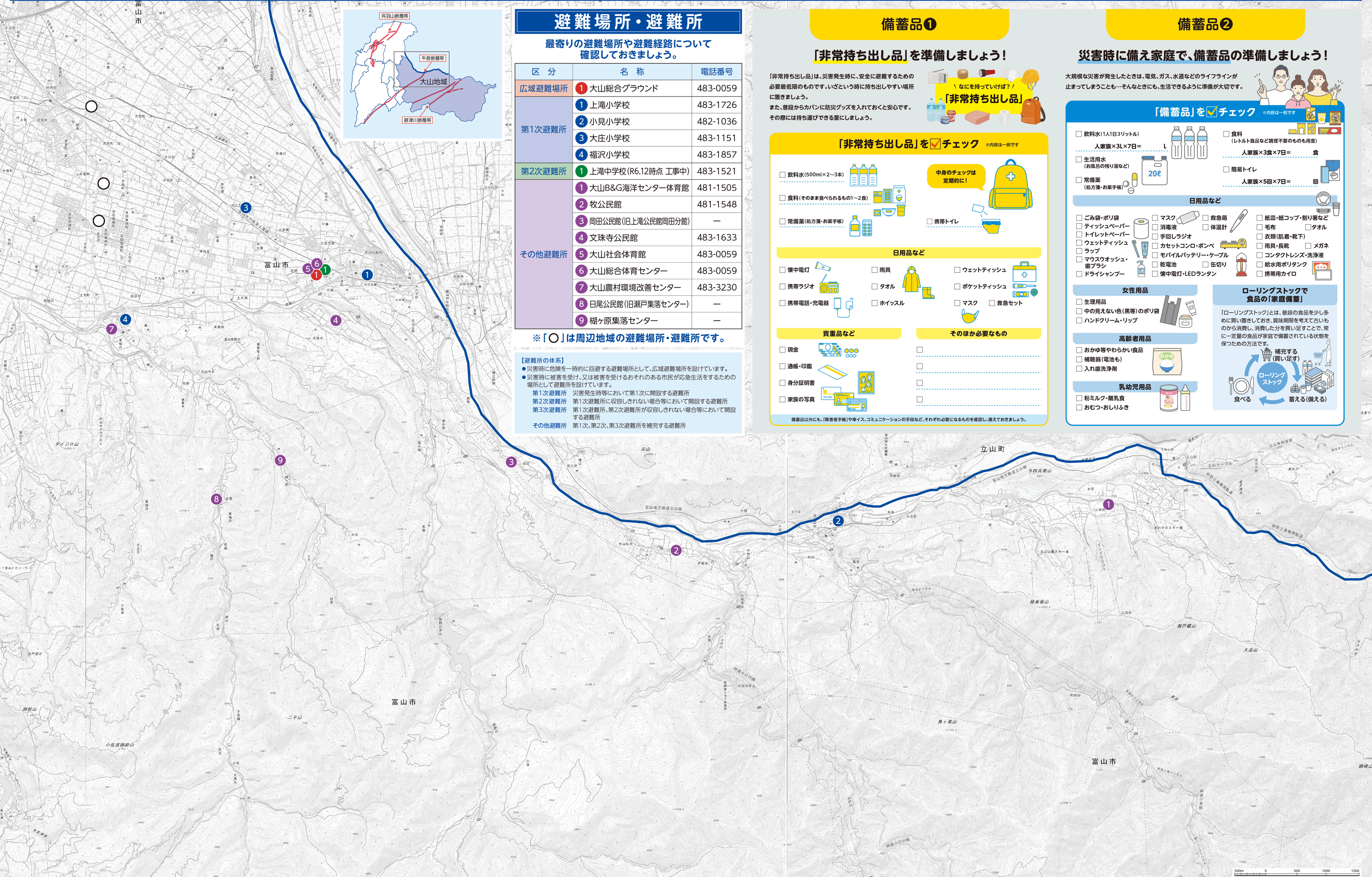




避難場所・避難所

最寄りの避難場所や避難経路について確認しておきましょう。

区分	名称	電話番号
広域避難場所	① 大山総合グラウンド	483-0059
第1次避難所	① 上滝小学校	483-1726
	② 小見小学校	482-1036
	③ 大庄小学校	483-1151
	④ 福沢小学校	483-1857
第2次避難所	① 上滝中学校 (R6.12時点 工事中)	483-1521
その他避難所	① 大山B&G海洋センター体育館	481-1505
	② 牧公民館	481-1548
	③ 岡田公民館 (旧上滝公民館岡田分館)	—
	④ 文珠寺公民館	483-1633
	⑤ 大山社会体育館	483-0059
	⑥ 大山総合体育センター	483-0059
	⑦ 大山農村環境改善センター	483-3230
	⑧ 日尾公民館 (旧瀬戸集落センター)	—
	⑨ 榎ヶ原集落センター	—

※「○」は周辺地域の避難場所・避難所です。

【避難所の体系】

- 災害時に危険を一時的に回避する避難場所として、広域避難場所を設けています。
- 災害時に被害を受け、又は被害を受けるおそれのある市民が応急生活をするための場所として避難所を設けています。

第1次避難所 災害発生時等において第1次に開設する避難所
第2次避難所 第1次避難所に収容しきれない場合等において開設する避難所
第3次避難所 第1次避難所、第2次避難所が収容しきれない場合等において開設する避難所
その他避難所 第1次、第2次、第3次避難所を補完する避難所

備蓄品①

「非常持ち出し品」を準備しましょう！

「非常持ち出し品」は、災害発生時に、安全に避難するための必要最低限のものです。いざという時に持ち出しやすい場所に置きましょう。
また、普段からカバンに防災グッズを入れておくと安心です。その際には持ち運びできる量にしましょう。

「なにを持っていけば？」
「非常持ち出し品」

「非常持ち出し品」を☑チェック

※内容は一例です

☐ 飲料水 (500ml×2～3本)

☐ 食料 (そのまま食べられるもの1～2食)

☐ 常備薬 (処方箋・お薬手帳)

中身のチェックは定期的に！

日用品など

☐ 懐中電灯 ☐ 携帯ラジオ ☐ 携帯電話・充電器

☐ 雨具 ☐ タオル ☐ ホイッスル

☐ ウェットティッシュ ☐ ポケットティッシュ ☐ マスク ☐ 救急セット

貴重品など

☐ 現金 ☐ 通帳・印鑑 ☐ 身分証明書 ☐ 家族の写真

その他必要なもの

☐

☐

☐

☐

備蓄品以外にも、「障害者手帳」や車イス、コミュニケーションの手段など、それぞれ必要になるものを確認し、備えておきましょう。

備蓄品②

災害時に備え家庭で、備蓄品の準備しましょう！

大規模な災害が発生したときは、電気、ガス、水道などのライフラインが止まってしまうことも…そんなときにも、生活できるように準備が大切です。

「備蓄品」を☑チェック

※内容は一例です

☐ 飲料水 (1人1日3リットル)
家族×3L×7日=

☐ 食料 (レトルト食品など調理不要のものも用意)
家族×3食×7日=

☐ 生活用水 (お風呂の残り湯など)
20ℓ

☐ 常備薬 (処方箋・お薬手帳)

☐ 食料 (レトルト食品など調理不要のものも用意)
家族×3食×7日=

☐ 簡易トイレ
家族×5回×7日=

日用品など

☐ ごみ袋・ポリ袋 ☐ ティッシュペーパー ☐ トイレットペーパー ☐ ウェットティッシュ ☐ ラップ ☐ マウスウォッシュ・歯ブラシ ☐ ドライシャンプー

☐ マスク ☐ 消毒液 ☐ 手回しラジオ ☐ カセットコンロ・ボンベ ☐ モバイルバッテリー・ケーブル ☐ 乾電池 ☐ 懐中電灯・LEDランタン

☐ 救急箱 ☐ 体温計 ☐ 毛布 ☐ タオル ☐ 衣類 (肌着・靴下) ☐ 雨具・長靴 ☐ メガネ ☐ コンタクトレンズ・洗浄液 ☐ 給水用ポリタンク ☐ 携帯用カイロ

女性用品

☐ 生理用品 ☐ 中の見えない色 (黒等) のポリ袋 ☐ ハンドクリーム・リップ

高齢者用品

☐ おかゆ等やわらかい食品 ☐ 補聴器 (電池も) ☐ 入れ歯洗浄剤

乳幼児用品

☐ 粉ミルク・離乳食 ☐ おむつ・おしりふき

ローリングストックで食品の「家庭備蓄」

「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えた古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

食べる

ローリングストック

補充する (買い足す)

蓄える (備える)